

道交法改正に伴う小中学校生への交通安全教育は

自転車の正しい利用や危険な行為の認識を啓発・強化



問

自転車の道交法改正の対応は。来年4月より青切符制度導入に向けた講話を、今年度7月に伊予警察署署員が行うなど新制度の啓発に努めている。

これまで、小中学校生を中心に交通安全教育に取り組んできた。広報まさき、SNS等を通じ、幅広い世代に交通安全意識の向上を図っていく。



影岡 俊範
議員



ノーコードアプリによる業務改善は

現場主導でデジタル化を推進

問

業務改善の進捗状況は。

ノーコードツールは、専門的なプログラミング知識がなくても、職員自身が現場の業務に即したアプリを自ら作成・運用できる仕組みで、デジタル化を現場主導で推進する有効な手段である。

①マイナンバーカードの受取・更新予約管理

②健康ポイント事業に関する記録・管理

③カーブミラー点検業務の報告・共有

など、複数の業務において「キントーン」を活用し、事務の効率化・迅速化に取り組んでいる。

業務に精通した職員と、アプリ作成に意欲を持つ職員が、部署を超えて協働することで、全庁職員が業務改善への意欲を醸成することを期待する。

ホッケー公園体育館の新設検討は

新設か改修か、情報収集集中

問

具体的な検討の進捗は。

現在、施設に必要な機能、国の補助制度、他自治体における類似施設の先進事例等の情報収集に努めている。整備に向けては、検討すべき課題も多いことから既存施設を改修するか、新たに建設するかも含め、段階的に実現可能性の高い整備計画を策定していきたい。

ホッケー公園は、町の指定避難所でもあるので引き続き、ホッケーをはじめとする本町のスポーツ振興と地域防災力の強化を両立できるよう、着実に取り組んでいく。



池内 邦仁
議員



アーバンスポーツパークの整備は

整備に向けた検討に着手



問

「松前町アーバンスポーツ設立の会」から要望書が提出されたがその対応は。

子ども議会に端を発したものであり、若い世代の声がまろくに反映される象徴的なプロジェクトであると捉え、まずは検討会を立ち上げる。民間企業との協働を視野に持続可能な運営モデルの構築を図っていく。

一歩一歩真摯に、そして着実な取組を。